

委員会のおうけいき

総務 教育

常任委員会

災害用トイレ 14基を配備



委員長 宮川 徳光
みやがわ のりみつ

新型コロナウイルス感染症対策費を活用し、災害用トイレを7基購入したものの。

■災害用トイレ購入費

207万円

防災費名目で、災害用トイレを7基購入したものの。

新型コロナ感染症対策費を活用し、災害用トイレを7基購入したものの。市野々川集会所、黒潮消防署、湊川ふれあいセンター、あつたかふれあいセンター北郷、あつたかふれあいセンターにしきの広場の6カ所にそれぞれ

1基を配備している。トイレの構造は、組み立て式の簡易な合併浄化槽のような構造のもので、附属のテントによるプライバシーの確保もされている。

また、災害時に必要となった施設には別の施設から持つて行けるようにしているとのこと。

佐賀支所



大方本庁舎



地方公務員の定年順次65歳に

■地方公務員法の定年引上げに伴う例規整備支援業務委託 132万円

地方公務員法の改正により、令和5年度から1歳ずつ定年を延ばしていくことに伴うもの。

■退職する年齢が順次

65歳まで上がっていくとのことだが、60歳以降の役職や給料はどうなるのか。

60歳以降の役職については、基本的に60歳の年度末をもって管理職からは外れる。ただ、特別な事情がある場合は引き続きとなる場合もある。この実務的なポストについては、現在、調整中。また、給料については、60歳時点の7割を支給するとのこと。

今回、本委員会に付託された10議案は、審査の結果、すべて全会一致で認定、または可決すべきものとなった。

●令和3年度 一般会計決算

災害用トイレ

14基を配備

■公共施設用資材

210万円

A 主要な各施設の必要数を算出して、設置するようにしている。

これらの14基については、入野小学校、大方中学校、集落活動センター

かきせ、旧上田の口保育所の4カ所にそれぞれ2



購入した災害用トイレ